

令和7年6月23日

お知らせ

課所名	農林水産総合センター 普及連携部普及推進課
担当	福田、荒木
直通	086-955-0274

桃のスマート栽培管理支援システム実演会を開催します！

県では、大学や桃生産者、民間企業等と連携し、令和4年度から6年度にかけて国事業を活用した桃のスマート栽培管理支援システムを開発しました。

このたび、産地への普及を進めるため、桃生産者等を対象とした実演会を開催しますので、お知らせします。

記

- 日時 令和7年7月8日（火）14:30～15:30
- 場所 岡山県農林水産総合センター（赤磐市神田沖 1174-1）
桃栽培ほ場
- 主催 岡山県
- 参集者 桃生産者、JA、市町村、大学、民間企業、県 約50人
- 内容 スマート栽培管理支援システムの実演、体験
水田転換園でのY字形栽培技術について
- その他
 - ・スマート栽培管理支援システムの概要は次頁をご覧ください。
 - ・当日取材を希望される方は事前にご連絡をお願いします。
(システムの動画等のデータを事前に提供いたします。)
 - ・小雨でも開催します。なお、大雨等により中止する場合は、当日11時までに当センター普及連携部ホームページにお知らせを掲載します (<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/236/>)。

(参考)

桃のスマート栽培管理支援システムの概要

1 システム開発の概要

- (1) 桃の果実は成熟に向けて軟化するため、果実硬度を測定し、成熟までの軟化曲線を作成することで、収穫2週間前の果実硬度から収穫適期を予測する技術を開発した。
- (2) 収穫2週間前に測定した果実硬度は、果実の位置データとともにクラウドに保存し、スマートグラスに適正な収穫日までの日数を表示させるシステムを構築した。

【開発したシステム】



【使用のイメージ】

(収穫2週間前)



袋の上から硬度測定

(収穫期)



スマートグラスに適正な
収穫日までの日数を表示

2 対象品種

白鳳、清水白桃、おかやま夢白桃、白皇、白露（県主要5品種）

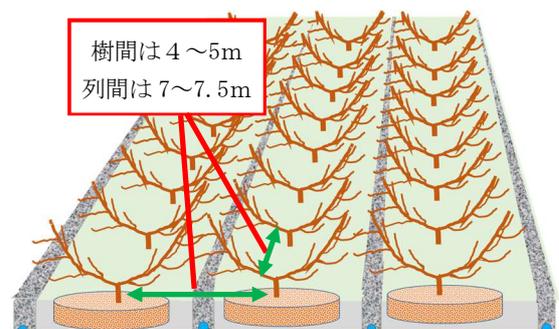
3 システム導入による効果

- (1) 果実硬度の測定時間を含む収穫作業時間が25%短縮された。
- (2) 目視による収穫に比べ適正な熟度の果実が収穫でき、正品率が15%向上した。

4 今後の目指す方向

スマート栽培管理支援システムと水田転換園におけるY字形栽培などを組み合わせることで、桃栽培の生産性向上を図るとともに、規模拡大や新規栽培者の確保・育成を進め、桃の供給力強化につなげる。

【Y字形栽培のイメージ】



桃のスマート栽培管理支援システム実演会実施概要

1 内容（桃栽培ほ場）	14:30	～	15:30
（開会あいさつ）			
・水田転換園でのY字形栽培について （移動）	14:30	～	14:40
・スマート栽培管理支援システムの説明、実演、体験等	14:50	～	15:30

2 その他

- ・14時25分までに当センター本館正面玄関前にお越しください。担当がご案内します。
- ・小雨でも開催します。

なお、大雨等により中止する場合は、当日11時までに県農林水産総合センター
普及連携部HPに掲載します。

<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/236/>



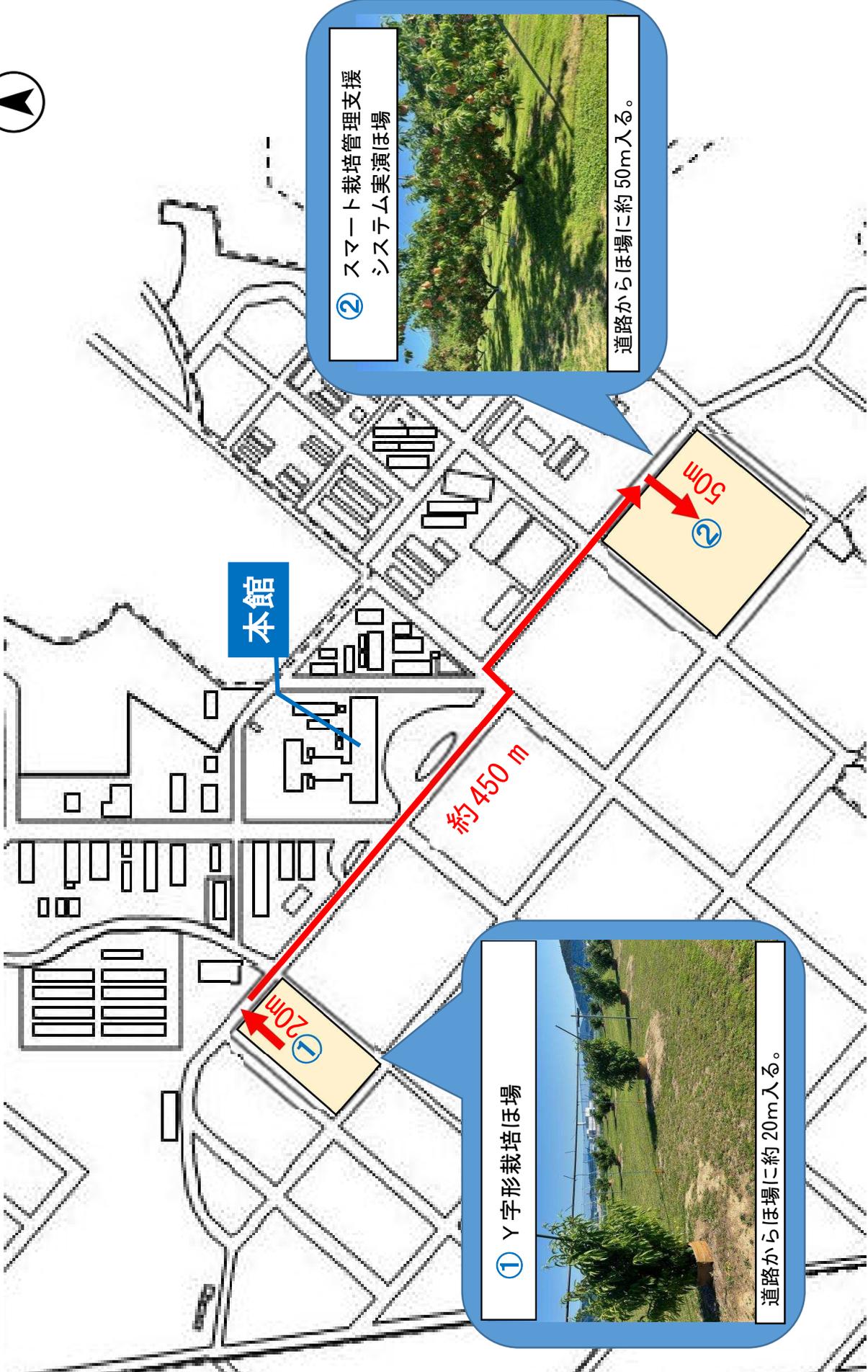
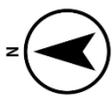
普及連携部HP

3 お問い合わせ先

岡山県農林水産総合センター普及連携部普及推進課（担当：福田、荒木）

TEL086-955-0274

＜農林水産総合センター＞



① Y字形栽培ほ場



道路からほ場に約 20m 入る。

② スマート栽培管理支援システム実演ほ場



道路からほ場に約 50m 入る。